

教育・研究業績書

講座名 口腔外科学		
＜教員の紹介＞		
教授 今井 裕 准教授 川又 均 講師 麻野 和宏 講師 酒井 英紀		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生の授業参加意識の向上の取り組み	2004年5月～現在	授業は臨床病態をもとに視覚的教材を活用し、学生の授業参加意欲を高め、その上で基礎的な部分を組み入れながら、発展的に研究分野への興味を持つような工夫を行っている。
2. FD	2006年10月	授業評価アンケートの結果に基づいて、授業方法が適切であるかを確認し、その後の授業に対する理解度の改善に役立っている。
② 作成した教科書、教材、参考書		
「口腔外科衛生論」の教材作成	2004年5月～現在	口腔外科衛生論の授業内容の要約に参考資料を添付した教材を作成。毎回の授業時に配布し、学生の理解と学習の一助としている。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
「ベトナム社会主義共和国における口唇口蓋裂に対する医療援助活動」	2005年12月～2006年12月	ベトナム社会主義共和国における口唇口蓋裂の調査活動と治療（手術）を行った。
「モンゴル国立母子医療センター招待講演」	2008年8月	口唇口蓋裂に関し、症例をもとに講演した。
「モンゴル国における口唇口蓋裂に対する医療援助活動」	2007年8月～現在	モンゴル国ウランバートルならびにドルノゴビで口唇口蓋裂の調査活動と治療（手術）を行っている。

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
口腔外科学	教授	今井 裕	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1973年～現在	日本口腔科学会	理事	
1973年～現在	日本口腔外科学会	評議員	
1981年～現在	日本口蓋裂学会	評議員	
1985年～現在	千葉医学会	評議員	
1985年～現在	千葉県歯科衛生士試験	委員	
1990年～現在	日本口腔腫瘍学会	評議員	
2003年～現在	栃木県社会保険支払い基金審査委員		
2006年～現在	日本口腔顎顔面外傷学会	理事	
2006年～現在	日本口腔ケア学会	理事	
2006年～現在	日本有病者歯科医療学会	理事	
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>今井 裕</u> , 酒井英紀: 口腔自己免疫疾患 12-18 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」今井 裕編 第一 歯科出版 2004.			
2. 酒井英紀, <u>今井 裕</u> : 口腔粘膜疾患と免疫 49-55 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」今井 裕編 第 一歯科出版 2004.			
3. 藤盛孝博, 執筆協力者: 小野祐子, 井村穰二, <u>今井 裕</u> , 川又 均, 岡 敦子, 上田義彦, 平林かおる, 大倉康男: 消化 管の病理 医学書院 2004.			
4. 川又 均, <u>今井 裕</u> , 藤盛孝博: 微少転移の病理学的評価と臨床的意義 消化器癌の診断・治療—内視鏡と病理の 接点 新興医学出版 2004.			
5. 船田安希, 岩瀬良範, 松島久雄, 北島敏光, <u>今井 裕</u> : ビデオ喉頭鏡を用いた唇顎の口蓋裂患者の気管挿管の困 難性についての検討: 日本歯科麻酔学会雑誌第33巻第3号別刷 2005.			
6. <u>今井 裕</u> : 口腔金属アレルギー. 今日の治療指針2006 1103-1103 医学書院 2006.			
7. <u>今井 裕</u> : 口は災いのもと. 東京新聞「医療のつぶやき24」, 2006.			
8. <u>今井 裕</u> : 歯科医学用語解説. 言語聴覚士のための基礎知識 「臨床歯科医学・口腔外科学」 夏目長門 編 医 学書院 2006.			
9. <u>今井 裕</u> : 日本口腔ケア学会認定資格標準テキスト 問題と解説集 上巻 日本口腔ケア学会編 日総研出版 2006.			
10. 船田安希, <u>今井 裕</u> , 山口重樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光: 治療方法が制限された腎移植後の三叉神経高 周波熱凝固法が奏効した1症例: ペインクリニック vol. 29, No10 2008.			

11. 今井 裕 : 最新 チェアーサイドで活用する口腔粘膜疾患の診かた 日本歯科評論増刊 2007 ヒョーロン 2007.
12. 今井 裕 : プライマリ・ケア即戦手引き 金芳堂 2008.
13. 今井 裕 : 暮らしと健康 保健同人社 2008.
14. 今井 裕 : 地図状舌 暮らしと健康 63巻5号73 保健同人社 2008.
15. 今井 裕 : 心筋梗塞 ピンポイントで読む チームのための有病者歯科医療 16-17 クインテッセン出版株式会社 2008.
16. 今井 裕 : 口腔内の水泡 暮らしと健康 63巻10号73 保健同人社 2008.
17. 今井 裕 : 日本口腔ケア学会認定資格標準テキスト 問題と解説集 下巻 日本口腔ケア学会編 日総研出版 2008.
18. 川又 均, 今井 裕 : 特集 加齢による変化, 加齢による口腔領域の変化, 獨協医学会雑誌, 2008.

【原 著】

欧文

1. Kato H, Kojima H, Ishii N, Hase H, Imai Y, Fujibayashi T, Suganuma K, Kobata T: Essential role of OX40L on B cells in persistent alloantibody production following repeated alloimmunizations. Journal of Clinical Immunology Vol. 24 No3. 237-248 2004.
2. Kawamata H, Omotehara F, Nakashiro K, Uchida D, Shinagawa Y, Tachibana M, Imai Y, Fujimori T. Oncogenic mutation of p53 gene derived from head and neck cancer cell lines prevents cells from undergoing apoptosis after DNA damage, Br J Cancer, in press, 2004.
3. Fujita H, Iida m, Imura J, Shinagawa Y, Omotehara F, Kawamata H, Imai Y, Fujimori T: Clear cell carcinoma of the tongue. Oral Surg. Oral Med. Oral Pathol. Oral Radiol. Endod., 98: 579-582, 2004.
4. T. Sasaki, D. R. Mores, Y. Imai, M. Speight.: Clinico-pathological features of squamous cell carcinoma of the oral cavity in patients <40 years of age. J Oral Pathol Med. 34: 129-133, 2005.
5. Hirotsu Iwase, Tadaaki Sasaki, Setsuko Asakura, Kazuhiro Asano, Somsak Mitrirattanakul, Yoshizo Matsuka, and Yutaka Imai: Characterization of Patients With Disc Displacement Without Reduction Unresponsive to Nonsurgical Treatment: A Preliminary Study. J Oral Maxillofac Surg 63:1115-1122, 2005.
6. Arai Y, Arai H, Aoyagi A, Yamagata T, Mitani K, Kubota K, Kawamata H, Imai Y: A Solid Tumor of Donor Cell-Origin After Allogeneic Peripheral Blood Stem Cell Transplantation. Am J Transplant, 6: 3042-3043, 2006.
7. Tomoko Yokoyama, Hitoshi Kawamata, Masahito Hitosugi, Tadaaki Sasaki, Yutaka Imai: Relationship between the severity of oral and maxillofacial injuries and helmet use by type in motorcycle accidents. Dokkyo Journal of Medical Science 33: 11-16, 2006.
8. Kawamata H, Omotehara F, Nakashiro K, Uchida D, Shinagawa Y, Tachibana M, Imai Y, Fujimori T: Oncogenic mutation of p53 gene derived from head and neck cancer cell lines prevents cells from undergoing apoptosis after DNA damage. Int J Oncology, 30: 1089-1097, 2007.
9. Becker JC, Fukui H, Imai Y, Sekikawa A, Kimura T, Yamagishi H, Yoshitake N, Pohle T, Domschke W, Fujimori T.: Colonic expression of heme oxygenase-1 is associated with a better long-term survival in patients

with colorectal cancer. Scandinavian Journal of Gastroenterology42:852-858, 2007.

10. Doi Y, Kawamata H, Ono Y, Fujimori T, Imai Y : Expression and cellular localization of TSC-22 in normal salivary glands and salivary gland tumors: implications for tumor cell differentiation. Oncol Rep19:609-616, 2008.

和文

1. 横山朋子, 一杉正仁, 本澤養樹, 黒須明, 佐々木忠昭, 今井 裕, 長井敏明, 徳留省悟: 介護中の事故が関与した死亡例の検討 日本職業・災害医学会誌 52 : 177-180, 2004.
2. 高山 治, 横山純吉, 亀卦川昭宗, 今井 裕 : 小唾液腺に発生したEVB関連 Lymphoepithelial Carcinoma の一例 頭頸部癌 30 519-523 2004.
3. 今井 裕, 木村時子, 土肥 豊, 品川泰弘, 酒井英紀, 佐々木忠昭: 含歯性嚢胞内の埋伏歯を開窓療法により良好な歯列に誘導し得た一例 栃木県歯科医学会雑誌 第56巻(別冊) 15-18. 2004.
4. 横山朋子, 一杉正仁, 佐々木忠昭, 今井 裕, 長井敏明, 徳留省悟: 母親がエホバの信者である未成年患者に対する治療例 生命倫理 15:107-111, 2005.
5. 横山朋子, 一杉正仁, 本澤養樹, 佐々木忠昭, 今井 裕, 徳留省悟: 自動車乗員における顎顔面外傷重症度の検討 日口外誌 51 : 2005.
6. 横山朋子, 佐々木忠昭, 酒井英紀, 川又 均, 今井 裕: 口腔扁平上皮癌の浸潤様式に対する三次元的解析. Dokkyo J Medical Science33:2006.
7. 横山朋子, 一杉正仁, 本澤養樹, 佐々木忠昭, 今井 裕, 徳留省悟: 自動車乗員における顎顔面外傷重症度の検討 日口外誌 51 : 2005.
8. 船田安希, 岩瀬良範, 松島久雄, 北島敏光, 今井 裕 : ビデオ喉頭鏡を用いた唇顎口蓋裂患児の気管挿管の困難性についての検討. 日本歯科麻酔学会雑誌 33:364-368, 2005.
9. 加藤洋史, 酒井英紀, 品川泰弘, 川又 均, 佐々木忠昭, 今井 裕: 当科での若年者シェーグレン症候群における検討 日本口腔粘膜学会雑誌 12: 11-15, 2006.
10. 横山朋子, 佐々木忠昭, 酒井英紀, 川又 均, 今井 裕: 口腔扁平上皮癌の浸潤様式に対する三次元的解析 獨協医学会雑誌 33: 71-78, 2006.
11. 志水大地, 加藤洋史, 角田賀子, 越川久美子, 川又 均, 今井 裕 : 口腔癌患者において術前口腔ケアは術後抗生物質使用期間と入院期間を短縮できる 第60回栃木県歯科医学会誌 2008.
12. 齋藤伸枝, 酒井英紀, 村本 創, 澁澤富喜子, 川瀬裕子, 川又 均, 今井 裕 : 当科における過去10年間の口腔扁平上皮癌患者の臨床的検討 第60回栃木県歯科医学会誌 2008.
13. 博多研文, 成川公貴, 朝倉節子, 泉さや香, 若林志延, 川又均, 今井 裕 : 当科における閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者に対する取り組みについて: 第60回栃木県歯科医学会 2008.

【症例報告】

和文

1. Fujita H, Iida M, Imura J, Shinagawa Y, Omotehara F, Kawamata H, Imai Y, Fujimori T: Clear cell carcinoma of the tongue. Oral Surg. Oral Med. Oral Pathol. Oral Radiol. Endod, 98: 579-582, 2004.

2. Kakuta Y, Kawamata H, Asano K, Doi Y, Imai Y: Kakuta Y, Kawamata H, Asano K, Doi Y, Imai Y: Clear cell carcinoma, not otherwise specified of oral floor: a case report. Asian J. Oral and Maxillofac. Surg, 20: 81-85, 2008.
(コレスポンドンス)

和文

1. 今井 裕, 木村時子, 土肥 豊, 品川泰弘, 酒井英紀, 佐々木忠昭: 含歯性嚢胞内の埋伏歯を開窓療法により良好な歯列に誘導し得た一例 栃木県歯科医学会雑誌 第56巻(別冊) 15-18. 2004.
2. 麻野和宏, 今井 裕, 佐々木忠昭, 藤林孝司.: 著明な顎偏位を伴った下顎頭部骨軟骨腫に対して人工関節頭を用いて即時再建した1例. 日口外誌 51:43-46. 2005.
3. 野村有希, 加藤洋史, 藤本幸久, 城守美香, 若林志延, 和久井崇大, 酒井英紀, 佐々木忠昭, 川又 均, 今井 裕: 開口障害を主訴に来院した破傷風の1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
4. 中津川周生, 村本創, 川瀬裕子, 越路千佳子, 渋谷富喜子, 川又 均, 今井 裕: 埋伏智歯抜歯時に歯根破折し, 歯根が口底に迷入した1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
5. 松本憲政, 品川泰弘, 成川公貴, 村本 創, 川又 均, 佐々木忠昭, 今井 裕: 両側上顎洞挙上術, インプラント即時埋入術を施行した1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
6. 石川智子, 角田賀子, 越川久美子, 泉さや香, 仲丸優美, 麻野和宏, 佐々木忠昭, 川又 均, 今井 裕: 重篤な合併症を有する患者の抜歯後に2次感染を起こした1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.

【総 説】

欧文

1. Kawamata H, Tachibana M, Fujimori T, Imai Y: Differentiation-inducing therapy for solid tumors. Current Pharmaceutical Design, in press, 2005.
2. Kawamata H, Tachibana M, Fujimori T, Imai Y. Differentiation-inducing therapy for solid tumors. Curr Pharm Des12:379-385, 2006.

【そ の 他】

和文

1. 佐々木忠昭: 歯性病巣感染 30-38 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」今井 裕編 第一歯科出版 2004.
2. 川又 均: インプラントの免疫 39-48 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」今井 裕編 第一歯科出版 2004.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
口腔外科学	准教授	川又 均	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1987年 2月～現在	日本口腔外科学会		
1987年 4月～現在	日本癌学会		
1990年 1月～現在	日本頭頸部癌学会		
1993年 10月～現在	American Association for Cancer Research		
2001年 1月～現在	日本癌転移学会		
2001年 1月～現在	日本消化器癌発生学会 (評議員：平成14～現在)		
2001年 1月～現在	日本病理学会		
2004年 1月～現在	日本口腔科学会		
2004年 1月～現在	日本口腔腫瘍学会		
2004年 4月～現在	日本癌治療学会		
2005年 1月～現在	口蓋裂学会		
2005年 1月～現在	顎顔面外傷学会		
2005年 1月～現在	口腔粘膜学会		
2005年 1月～現在	日本有病者歯科医療学会		
2005年 1月～現在	Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgeons		
2008年 4月～現在	日本口腔外科学会 ICD委員 (WHO国際協力員)		
2008年 9月～現在	日本有病者歯科医療学会抗凝固薬服用患者管理ガイドライン作成ワーキンググループ委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 著者：藤盛孝博，執筆協力者：小野祐子，井村穰二，今井裕， <u>川又均</u> ，岡敦子，上田義彦，平林かおる，大倉康男，消化管の病理，医学書院，2004.			
2. 今井裕編， <u>川又均</u> ，インプラントの免疫 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」，東京，第一歯科出版，39-48，2004. (分担者多数のため執筆項目の共著者のみ記載)			
3. <u>川又均</u> ，今井裕，藤盛孝博，微小転移の病理学的評価と臨床的意義，消化器癌の診断・治療-内視鏡と病理の接点，東京，新興医学出版，13-20，2005. (分担者多数のため執筆項目の共著者のみ記載)			
【原 著】			
欧文			
1. Onishi A, Nakashiro K, Mihara M, Sumida T, <u>Kawamata H</u> , Shintani S, Aida T, Tachikawa T, Hamakawa H: Basic and clinical studies on quantitative analysis of lymph node micrometastasis in oral cancer. Oncol Rep.			

- 11: 33-39, 2004.
2. Horiuchi H, Kawamata H, Omotehara F, Fujii S, Fujimori T, Kuroda Y: Negative immunohistochemical staining of p53 protein does not always reflect wild type p53 gene in cancer cells. *J Gastroenterol.* 39: 801-803, 2004.
 3. Takeda J, Kawamata H, Fujimori T: Is the term 'ACF' in human necessary? *J Gastroenterol.* 39: 400-401, 2004.
 4. Fujii S, Takada J, Kitajima K, Kaihara T, Kusaka T, Ichikawa K, Omotehara F, Ohkura Y, Ono Y, Imura J, Yamaoka S, Kawamata H, Fujimori T, Chiba T: Development of colonic neoplasia in p53-deficient mice with Experimental colitis induced by dextran sulfate sodium. *Gut.* 53: 710-716, 2004.
 5. Uchida D, Begum N-M, Almofti A, Kawamata H, Yoshida H, Sato M. Frequent Down-regulation of 14-3-3 \square protein and Hypermethylation of 14-3-3 $\square\square$ gene in Salivary Gland Adenoid Cystic Carcinoma. *Brit J. Cancer.* 91: 1131-1138, 2004.
 6. Horiuchi H, Kawamata H, Furihata T, Omotehara F, Hori H, Shinagawa Y, Ohkura Y, Tachibana M, Yamazaki T, Ajiki T, Kuroda T, Fujimori T: A MEK inhibitor (U0126) markedly inhibits direct liver invasion of orthotopically inoculated human gallbladder cancer cells in nude mice. *J Exp Clin Cancer Res.* 23: 207-214, 2004.
 7. Nakashiro K, Hara S, Shinohara Y, Oyasu M, Kawamata H, Shintani S, Hamakawa H, Oyasu R: Phenotypic switch from paracrine to autocrine role of hepatocyte growth factor in an androgen-independent human prostatic carcinoma cell line, CWR22R. *Am J Pathol.* 165: 533-540, 2004.
 8. Kitajima K, Fujimori T, Fujii S, Takeda J, Ohkura Y, Kawamata H, Kumamoto T, Ishiguro S, Kato Y, Shimoda T, Iwashita A, Ajioka Y, Watanabe H, Watanabe T, Muto T, Nagasako K: Correlations between lymph node metastasis and depth of submucosal invasion in submucosal invasive colorectal carcinoma: a Japanese collaborative study. *J Gastroenterol.* 39: 534-543, 2004.
 9. Shimizu K, Shiratori K, Kobayashi M, Kawamata H: Troglitazone inhibits the progression of chronic pancreatitis and the profibrogenic activity of pancreatic stellate cells via a PPARgamma-independent mechanism. *Pancreas.* 29: 67-74, 2004.
 10. Takeda J, Kitajima K, Fujii S, Horiuchi H, Hori H, Chibana Y, Okuyama T, Tominaga K, Ichikawa K, Ono Y, Teramoto T, Ohkura Y, Imura J, Shinoda M, Chiba T, Sakamoto C, Kawamata H, Fujimori T: Inhibitory effects of etodolac, a selective COX-2 inhibitor, on the occurrence of tumors in colitis-induced tumorigenesis model in rats. *Oncol Rep.* 11: 981-985, 2004.
 11. Tachibana M, Kawamata H, Fujimori T, Omotehara F, Horiuchi H, Ohkura Y, Igarashi S, Kotake K, Kubota K: Dysfunction of p53 pathway in human colorectal cancer: analysis of p53 gene mutation and the expression of p53-associated factors, such as p14arf, p33ing1, p21waf1 and mdm2. *Int J Oncol.* 25: 913-920, 2004.
 12. Inaba F, Kawamata H, Teramoto T, Fukasawa I, Inaba N, Fujimori T: PTEN and p53 abnormalities are indicative and predictive factors for endometrial carcinoma, *Oncol Rep*, 13: 17-24, 2005.
 13. Ohkura Y, Kawamata H, Chibana Y, Ichikawa K, Fujii S, Tomita S, Ono Y, Fujimori T: Histopathological Study of Small (<2 cm) Gastric Carcinoma with Signet-Ring Cell Component: Significance of the Admixed Glandular Components. *Int J Surg Pathol.* 13: 197-203, 2005.

14. Chibana Y, Fujii S, Ichikawa K, Fujita M, Ono Y, Tomita S, Imura J, Kawamata H, Terano A, Fujimori T: Tumor cell dissociation score highly correlates with lymph node metastasis in superficial esophageal carcinoma. J Gastroenterol Hepatol. 20: 1371-1378, 2005.
15. Mukawa K, Fujii S, Takeda J, Kitajima K, Tominaga K, Chibana Y, Fujita M, Ichikawa K, Tomita S, Ono Y, Imura J, Kawamata H, Chiba T, Hiraishi H, Terano A, Fujimori T: Analysis of K-ras mutations and expression of cyclooxygenase-2 and gastrin protein in laterally spreading tumors. J Gastroenterol Hepatol. 20: 1584-1590, 2005.
16. Arai Y, Arai H, Aoyagi A, Yamagata T, Mitani K, Kubota K, Kawamata H, Imai Y: A Solid tumor of donor cell-origin after allogeneic peripheral blood stem cell transplantation. Am J Transplant. 6: 3042-3043, 2006.
17. Yokoyama T, Kawamata H, Hitosugi M, Sasaki T, Imai Y : Relationship between the severity of oral and maxillofacial injuries and helmet use by type in motorcycle accidents. Dokkyo Journal of Medical Science, 33: 11-16, 2006.
18. Kawamata H, Omotehara F, Nakashiro K, Uchida D, Shinagawa Y, Tachibana M, Imai Y, Fujimori T: Oncogenic mutation of the p53 gene derived from head and neck cancer prevents cells from undergoing apoptosis after DNA damage. Int J Oncology, 30: 1089-1097, 2007.
19. Doi Y, Kawamata H, Ono Y, Fujimori T, Imai Y: Expression and cellular localization of TSC-22 (TGF-beta stimulated clone 22) in normal salivary glands and salivary gland tumors: its implication for tumor cell differentiation. Oncology Reports, 19: 609-616, 2008.

和文

1. 川又均, 表原文江, 藤盛孝博 : マイクロアレイ解析による食道癌リンパ節転移関連因子の検索. 頭頸部腫瘍, 30: 53-60, 2004.
2. 川又均, 佐々木忠昭, 今井裕:インプラント前処置としてなされた造骨部位の組織学的検討: 補填物 [自家骨, 除タンパクした牛骨 (Bio-Oss), beta-TCP (BioResorb, オスフェリオン), PRP (多血小板血漿)] による比較. 栃木県歯科医学会雑誌, 2005.
3. 横山朋子, 佐々木忠昭, 酒井英紀, 川又均, 今井裕 : 口腔扁平上皮癌の浸潤様式に対する三次元的解析. 獨協医学会雑誌33: 71-78, 2006.
4. 加藤洋史, 酒井英紀, 品川泰弘, 川又均, 佐々木忠昭, 今井裕: 当科での若年者シェーグレン症候群における検討. 日本口腔粘膜学会雑誌12: 11-15, 2006.

【症例報告】

欧文

1. Fujita H, Iida M, Imura J, Shinagawa Y, Omotehara F, Kawamata H, Imai Y, Fujimori T: Clear cell carcinoma of the tongue. Oral Surg. Oral Med. Oral Pathol. Oral Radiol. Endod, 98: 579-582, 2004.
2. Kakuta Y, Kawamata H, Asano K, Doi Y, Imai Y: Kakuta Y, Kawamata H, Asano K, Doi Y, Imai Y: Clear cell carcinoma, not otherwise specified of oral floor: a case report. Asian J. Oral and Maxillofac. Surg, 20: 81-85, 2008. (コレスポонденス)

和文

1. 野村有希, 加藤洋史, 藤本幸久, 城守美香, 若林志延, 和久井崇大, 酒井英紀, 佐々木忠昭, 川又均, 今井裕: 開口障害を主訴に来院した破傷風の1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
2. 中津川周生, 村本創, 川瀬裕子, 越路千佳子, 渋沢富喜子, 川又均, 今井裕: 埋伏智歯抜歯時に歯根破折し, 歯根が口底に迷入した1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
3. 松本憲政, 品川泰弘, 成川公貴, 村本創, 川又均, 佐々木忠昭, 今井裕: 両側上顎洞挙上術, インプラント即時埋入術を施行した1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.
4. 石川智子, 角田賀子, 越川久美子, 泉さや香, 仲丸優美, 麻野和宏, 佐々木忠昭, 川又均, 今井裕: 重篤な合併症を有する患者の抜歯後に2次感染を起こした1例. 栃木県歯科医学会雑誌, 2007.

【総 説】

欧文

1. Kawamata H, Fujimori T, Imai Y: TSC-22 (TGF-beta stimulated clone-22): A novel molecular target for differentiation-inducing therapy in salivary gland cancer. Current Cancer Drug Target, 4: 521-529, 2004.
2. Kawamata H, Tachibana M, Fujimori T, Imai Y: Differentiation-inducing therapy for solid tumors. Curr Pharm Des, 12: 379-385, 2006.

和文

1. 川又均, 橋昌嗣, 藤盛孝博: 食道癌診断・治療の最前線, 分子標的治療 (EGFR 関連, COX-2, PPAR-gammaなど). モダンフィジシャン, 24: 82-86, 2004.
2. 奥山隆, 藤井茂彦, 喜多嶋和晃, 武田純, 堀宏茂, 富永圭一, 市川一仁, 寺本忠久, 小野祐子, 大倉康男, 井村穰二, 川又均, 山口真彦, 藤盛孝博: 大腸癌における微小転移診断. 病理と臨床, 22: 137-140, 2004.
3. 藤田幹夫, 川又均, 藤盛孝博: 特集 ここまでわかるようになった消化管遺伝子診断, 消化管疾患遺伝子診断の進歩. Mebio, 21: 58-62, 2004.
4. 藤盛孝博, 川又均, 日野田裕治: GI Frontiers Club in Tokyo, 大腸癌治療の総合戦略, 総合討論コメント, モダンフィジシャン, 24: 1260-1261, 2004.
5. 川又均, 今井裕, 藤盛孝博: 学会報告 95th Annual Meeting of American Association for Cancer Research. G. I. Research, 12: 60-64, 2004.

【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
口腔外科学	講師	麻野 和宏	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1985年9月～現在	日本口腔外科学会会員		
1985年9月～現在	日本口腔科学会会員		
1991年9月～現在	日本口腔インプラント学会会員		
1994年9月～現在	日本口腔腫瘍学会会員		
1998年9月～現在	日本顎関節学会会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
【症例報告】			
欧文			
1. Yoshiko Kakuta, Hitoshi Kawamata, <u>Kazuhiro Asano</u> , Yutaka Doi, Yutaka Imai :Clear Cell Carcinoma, Not Otherwise Specified, Of the Oral Floor. Asian J Oral Maxillofac Surg:81-85,2008.			
和文			
1. <u>麻野和宏</u> 、今井 裕、佐々木忠明、藤林孝司：著明な顎偏位を伴った下顎頭部骨軟骨腫に対して人工関節頭を用いて即時再建した1例、日口外誌 51:43-46. 2005.			
2. 石川智子、角田賀子、越川久美子、泉さや香、仲丸優実、 <u>麻野和宏</u> 、佐々木忠明、川又均、今井裕：重篤な合併症を有する患者の抜歯後に2次感染を起こした1例・栃木県歯科医師会雑誌、2007.			
【総 説】			
【そ の 他】			
和文			
1. <u>麻野和宏</u> ：日本口腔ケア学会認定資格標準テキスト 問題と解説集 下巻 日本口腔ケア学会編 日総研出版 2008.			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
口腔外科学	講師	酒井 英紀	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1988年10月～現在	日本口腔外科学会		
1990年4月～現在	日本口腔科学会		
1990年5月～現在	日本口腔腫瘍学会		
1990年5月～現在	日本口腔粘膜学会		
1990年5月～現在	頭頸部癌学会		
2005年5月～現在	日本口蓋裂学会		
2006年4月～現在	日本顎変形症学会		
2005年12月	海外医療援助参加 (ベトナム社会主義共和国ベンチエ省)		
2006年12月	海外医療援助参加 (ベトナム社会主義共和国ベンチエ省)		
2007年8月	海外医療援助参加 (モンゴル国)		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>酒井英紀</u> , 今井 裕: 口腔粘膜疾患と免疫. 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」 第一歯科出版 49-55, 2004			
2. 今井 裕, <u>酒井英紀</u> : 口腔自己免疫疾患. 季刊 歯科医療「口腔病変と免疫のしくみ」 第一歯科出版 12-18, 2004			
【原 著】			
和文			
1. 横山朋子, 佐々木忠昭, <u>酒井英紀</u> , 川又 均, 今井 裕: 口腔扁平上皮癌の浸潤様式に対する三次元的解析. Dokkyo J Medical Science 33: 2006			
2. 今井 裕, 城守美香, 成川公貴, <u>酒井英紀</u> , 朝倉節子: 上顎洞内迷入歯の臨床的検討 栃木県歯科医学会雑誌 第56巻 (別冊) 3-9: 2004			
【症例報告】			
和文			
1. 今井 裕, 木村時子, 土肥 豊, 品川泰弘, <u>酒井英紀</u> , 佐々木忠昭: 含菌性嚢胞内の埋伏歯を開窓療法により良好な歯列に誘導し得た一例 栃木県歯科医学会雑誌 第56巻 (別冊) 15-18. 2004			
【総 説】			
【そ の 他】			